

教科・分野	週時間数	クラス	生徒数	担当者
美術・工芸	1	A～E	40	寺尾 佳子
目 標	美術を鑑賞することと表現することで、美の本質を考え、その豊かさと楽しさに触れることで、創造力を育み、個性を伸ばすことを目標とする。			
大切に育てたいもの	<ol style="list-style-type: none"> 1. 造形的な創造活動の能力を伸ばすことを大切にしています。 2. 創造することの喜びを感じることを大切にしています。 3. 美術を愛好する心情を育んでいくことを大切にしています。 			

学期	考査	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期		クラフト工芸 「ランチョンマットをつくる」	<ol style="list-style-type: none"> 1. 素朴な工芸の技法に触れ、編組工芸の魅力を味わう。 2. 集中力を身につけ、完成したときの達成感を味わう。 3. 完成した作品を展示して互いに鑑賞する。
二学期		油絵 「自画像」	<ol style="list-style-type: none"> 1. 鏡を見ながら自分らしさが描けるような構図を見つける。 2. 自分らしさ、とくに眼に力のある自画像を意識しながら下絵を描く。 3. 油絵の基礎技法を学び、表現の可能性を追求しながら描いていく。 4. 完成した作品を展示して互いに鑑賞する。
三学期		染色 「ファブリックパネルをつくる」	<ol style="list-style-type: none"> 1. 染色について学習し、その特徴を生かした図柄を考案する。 2. 染料の扱い方を身につける。 3. 染色の技法と作業の手順を学び、皆で協力して制作を行う。 4. 完成した作品を展示して互いに鑑賞する。

価 の 方 法	授業で制作した作品評価	
学習活動の特徴	市販品ではなく、オリジナルに開発した教材を使用している。	
授業の形態	スライドを使った作品鑑賞と実習授業	
使用教科書	高校美術1 日本文教出版	
使用副教材		
用意するもの	美術セットほか	
備 考		